

# つばさ

～男女が支え合い、いきいきと暮らせるまちをめざして～

2022.10

No.33

## 【内容】

- ・言葉が変われば社会も変わる
- ・男女共同参画川柳
- ・地域できらめく人みいつけた  
浦狩知子さん
- ・男女共同参画クロスワード
- ・津市ヘルスマイトおすすめレシピ

《 情報紙の  
名称の由来 》

『つばさ』・・・「誰もが自由な心で生きられる社会を思い、男女共同参画社会の実現に向かって飛躍していきたい」という願いを込め、その力となる「翼=つばさ」を象徴しています。

## 言葉が変われば社会も変わる

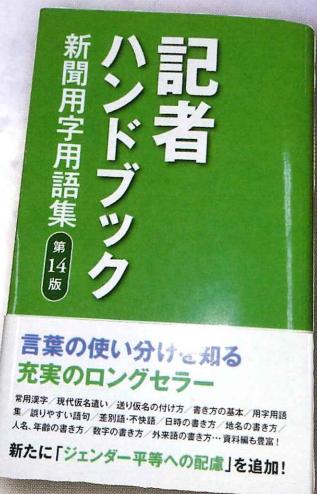
言葉は時代とともに移り変わるもの。テレビ局や新聞社の記者が原稿を書くとき、「記者ハンドブック」が使われます。この春刊行の14版には初めて「ジェンダー平等への配慮」のコーナーが登場しました。中をのぞいてみましょう！

①「女性を特別視する表現は原則使わない」と書かれています。「男性側に対語のない女性表現は原則として使わない」とも。例えば、「女優」→「俳優」、「婦警」→「女性警官」、「未亡人」→「故△△さんの妻、○○さん」と言い換えるべきと書かれています。

②「女性や男性をことさらに強調する表現は不適切」と書かれています。例えば、「男なら泣くな」「男勝り」「女だてらに」「女の戦い」「内助の功」「女らしい」などの表現。

このように見てみると、これまでよく見聞きした言葉が多いですね。女性同士が1議席を争う選挙は以前なら「女の戦い」などと報じられてきました。

「昔は使っても良かったのに」とか「話がしにくくなるやん」という声も聞こえそうです。でもちょっとした配慮のない言葉が、人を傷つけ、社会や文化に性差という垣根をつくってしまうことを忘れたくないものです。



「記者ハンドブック 第14版 新聞用事用語集」  
(共同通信社 2022年)

## 男女共同参画川柳



川柳  
コメント

テーマ「あなたが感じる身近な男女共同参画」で募集し、多くの作品をご応募いただきました。その中から一部ご紹介させていただきます。皆さん、ありがとうございました！

皆さんの作品を拝見し、男女共同参画をいろいろな視点から見て、感じもらっているなど感じました。これからも思ったこと、感じたことをぜひ川柳にしてみてください。

「つばさ」最新号はもちろん、バックナンバーもこちらからご覧いただけます。（津市HPへリンク）



各分野でいきいきと活躍する方にお話しを伺いました!!

# 地域でキラめく人 みいつけた

いなべ市地域おこし協力隊  
LGBT専門相談員

## 浦狩 知子 さん

結婚後、津市に移り住み、3人の子どもを育てたお母さん。8年前、トランジンジャーのお子さんからカミングアウトを受けたことをきっかけに、多くの人が同じ悩みを抱えていることを知り、多様な性の子どもたちが生きやすい社会となるよう、講演会などの活動を行っている。

NPO 法人 LGBT の家族と友人をつなぐ会 東海理事、高校生が立ち上げた NPO 団体 NFT のメンバーとして活躍。現在は「いなべ市地域おこし協力隊」LGBT 専門相談員として活動中。



## 性の多様性って？

性別は男性、女性の2種類ではありません。性のあり方は人それぞれで、グラデーションにたとえられます。

性のグラデーション	
自分の性をどのように感じていますか？	
からだの性（生物学的な性） 出生時からの性別	女 ← → 男
の 要 素 こころの性（性自認） 自分が自分の性別を考えるか	女 ← → 男
好きになる相手の性（性的指向） どんな性の人を好きになるか	女 ← → 男

## LGBT って？

LGBT とは、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランジンジャーの頭文字を取り組み合わせた言葉

性 的 指 向	レズビアン <b>Lesbian</b> ----- 同性を好きになる女性
性 的 指 向	ゲイ <b>Gay</b> ----- 同性を好きなる男性
性 的 指 向	バイセクシュアル <b>Bisexual</b> ----- 同性も異性も好きになる人
性 的 指 向	トランジンジャー <b>Transgender</b> ----- からだの性とこころの性が一致しない人

LGBT 以外にも、好きになる相手の性やこころの性がわからず、決められないあるいは悩んでいる人「Questioning」を含めて LGBTQ という言葉も使われています。

## 子どもからカミングアウトされた時の正直な気持ちと応援していこうと思ったきっかけ

「お母さん…高校は男子として入学したいです。スカートも生理も限界…」

高校入試の願書提出期限直前、15歳の子どもが、いつもとは違う真剣な表情で、ずっと泣きながら、震えて、からだを小さくして、言いました。

ビックリしてしまい、すぐには信じられなかったですが、子どもが幼稚園の頃「いつ男の子みたいに性器が生えてくるの？」と聞いていたり、当時では珍しい青いランドセルを欲しがったりと、子どもからいくつサインが出ていたのに、

これまで気づいてあげられず悪かったなと思いました。

さらに、子どもから「ごめんなさい。お母さんに赤ちゃんを産んであげられなくてごめんなさい。願書の女子に〇をしたら、また3年間スカートをはかなくてはならない。もう女子でいるのは耐えられない」と訴えられました。それに対し、「大丈夫やよ、本当にごめんやったね。これからは男の子として育てるね」と答えました。

そして、どうしていいか困った私は、自分の中学時代の担任の先生に相談しました。すると、先生から「その子らの人权は守らなければならない。知子はお母さんなんだから頑張りなさい」と教えてもらいました。この言葉がきっかけで、応援していこうという気持ちになりました。

## 子どもからの必死なカミングアウトを親として受け止めるために必要な心得

3人の子たちが小さい頃、パートの仕事を3つ掛け持ちして、忙しくしていましたが、「何か困ったことがあったら、まずお母さんに相談しなさい」と、子どもたちに日ごろから声を掛けていました。子どもたちから『困った』と相談があると、しっかりと向き合い、じっくりと話を聴いて悩みや問題の解決のため、お母さんとして力を注いできました。「子どもたちにとつて困ったときに話しやすい場所」を作つておくことは大切です。

LGBT当事者の子どもからの命がけの『助けて』という必死なカミングアウトも、約8割の親は受け入れられず否定してしまいます。そのような親に対し、次のように私は話します。「どうか、この子たちを授かった時のことを思い出してください。あの時は『男の子でも女の子でも、どうか無事に生まれますように』、『人に優しい子に、正直な子に、愛される子に、どうかこの子が幸せな大人に育ちますように』と望んでいたのではないかでしょうか？あの時幸せそうにほほえんでいた赤ちゃんと、今、恐怖で震えている子は同じ子ですよね」

## 一番つらかった、そして嬉しかった周囲の反応

子どもからカミングアウトされた8年前、海外ではLGBTは宗教的にいけないこととされたり、銃の乱射や石を投げて処刑されるような内容のテレビを見て本当につらかったです。講演会活動を始めた頃、子どもを『バケモノ』扱いされました。当初は、活動を理解してもらはず、「そんな活動していたら刺されるよ」と言われたことや、活動に抗議の電話がきたことがつらかったです。

嬉しかったことは、5年前に岡山大学病院で、子どもが受けた乳房切除手術（高校在学中で、名前と顔を公表したことには日本初となる）への取材依頼がきた時、夫が「何も悪いことはしていない、堂々と名前も顔も出していい」と応援してくれたことや、分からぬなりに自分の言葉で、親戚に子どものことを伝えてくれたことです。そして、前三重県知事（鈴木英敬氏）から「浦狩さんたちの活動に背中を押され、『性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例（令和3年4月1日施行）』ができた」と言われたこと、また子どもが「本当に怖かったり、一晩中泣いたことがあったけど、今の自分に誇りを持っている」と伝えてくれたことです。

## LGBTの方に家族として、同僚として、気をつけてほしいこと

多くの人は知らないだけで、必ずLGBTの当事者は自分の周りにいるんだということに気づいてください。わが子を診



インタビューの様子

てくれた医師から、「トランスジェンダーの人は日本にも世界にも昔からたくさんいる」と聞いたとき、悩んでいる当事者やみんなに知ってほしいと思いました。当事者がいることを知らないから、固定的な考え方で「男らしく、女らしく」など、言ってしまうのです。主語は『女性は』や『男性は』ではなく、『人は』に変える、つまり『人』としてやってほしいことを考えてほしいです。

## 支援をしてくれる人や場所をすぐ見つけられる社会に向けて

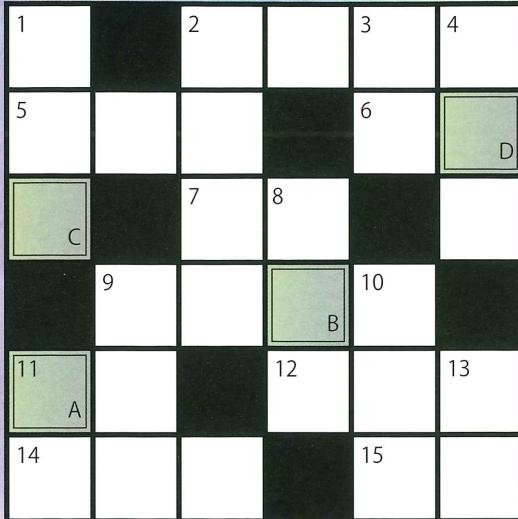
これまで三重県内外の各所で、講演活動をしてきました。医療的ケアが必要な子ども2人を抱えるお母さんや、また熊本地震で避難所生活をしていた方から、「私に何かできることはありますか？」と、お声掛けいただいたことが印象に残っています。また、鈴鹿市の小学6年生の児童が講演を聴き、誰もが安心して来られる学校にするため、卒業制作として、学校の階段をレインボーカラーにするという活動などをしてくれたこともあります。

支援者としてできることとして、「当事者は誰が支援してくれるか、わかりづらいため、支援者であるとわかるよう、6色のレインボーをあしらったものを身に着けたり、使用してほしい」とお願いしています。

どの講演会でも、控室へ相談にきてくれる人が必ずいます。当事者として悩んでいる方は必ず身の回りにいます。性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる社会の実現のために活動を続けています。



ヒント：幸せです



【応募方法】ハガキまたはEメールで、住所、氏名、年齢、電話番号、4文字の答え、本紙の感想を下記の編集・発行元へ

【締め切り】11月30日（火）必着

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

※前号（No.32）の答えは、「カイラン」でした。  
たくさんのご応募ありがとうございました！

### タテのキー

- 今号のおすすめ〇〇〇は、津市ヘルスメイトさん考案です。
- 近年、父兄ではなく、〇〇〇〇と言われます。〇〇〇〇会。
- 組織の悪しき慣習とも言われています。「出る〇〇は打たれる」。
- 英語で場面のこと。
- テレビ局や新聞社の記者が原稿を書くとき、「記者ハンド〇〇〇」が使われます。
- 「〇〇〇暗鬼」な時は、誰かに相談してみましょう。
- 「日本すもも」のことこう言います。
- お母さん、ママ、マザーとも言います。
- こういわれると嬉しいですね。

### ヨコのキー

- 近年、保母さんではなく、〇〇〇〇と呼ばれています。
- これがない話を聞くのは疲れます。例えば「太陽は西に沈む」の太陽。
- アルファベットの5番目。
- 干して食べると甘くなる果物。〇〇ガキ。
- 7月発表の「ジェンダー〇〇〇〇指数」（2022）のランキングで、日本は146位国中116位でした。
- 橋、箸、端。
- 〇〇〇メイト、〇〇〇替え、〇〇〇の担任。
- 信号機のない横断歩道を渡るときは、〇〇〇サインを出しましょう。
- 有期〇〇〇。

## 津市ヘルスメイト

### おすすめレシピ



#### かぼちゃとツナ缶の煮物

##### ■材料（2人分）

- かぼちゃ ..... 120g
- ツナ缶（油漬け）(1/2缶) ..... 35g
- 水 ..... 50ml
- A [しょうゆ (小さじ1/2) ..... 3g
- みりん (小さじ1/2) ..... 3g



#### れんこんのすり流し汁

##### ■材料（2人分）

- しいたけ (2枚) ..... 20g
- 長ねぎ ..... 20g
- れんこん ..... 60g
- だし汁 ..... 280ml
- あわせみそ (小さじ2) ..... 12g

野菜たっぷりで塩分ひかえめ  
でも簡単！なレシピを紹介します



少なめの水分と調味料で減塩につながらり、  
おいしいですが、煮汁が少ないので焦がさ  
ないように注意しましょう。

##### ■作り方

- かぼちゃは皮をまだらにむき、3cm角に切る
- 鍋にかぼちゃと水、ツナ缶を汁ごと入れる
- 最初からアルミホイルで落とし蓋をし、中火から弱火でかぼちゃがやわらかくなるまで7～8分ほど煮る
- Aを加え、軽く沸騰させる ※お好みで七味唐辛子をふる

れんこんのとろみで温かくいただきましょう。

##### ■作り方

- しいたけは薄切り、長ねぎは斜め切りにする
- れんこんはよく洗い、皮ごとすりおろす
- だし汁に①を入れ、2分ほど煮たら、みそを溶き入れる
- ③に②を入れれんこんに火が入り、とろみがつくまで中火から弱火で煮る

## 前号に寄せられた意見

- ジェンダーギャップ指数や女性の社会進出の低さは、もはや先進国とは名乗れない現状の日本、でも、スイミーのようにまとまれば、社会的弱者の立場であっても、もの言う大魚になれるはずです。意義のある行動をみんなで出来ればとねがっています。
- 簡単料理コーナーも参考になります。炊飯器ができるんですね。昔、ホットケーキのもとでケーキを作った事がありますが、煮物は考えてもみなかったです。

## 編集後記

インタビュー冒頭、「今日はLGBTのことを取り上げてくれてありがとうございます」と感謝の気持ちを述べられました。最初はわが子の人権を守るために、そして今では同じ思いで悩む人たちの人権や命を守るために活動をする浦狩さんのお話を聞き、LGBTについてもっと知りたい、たくさんの人に知ってほしいという思いが強くなりました。（稻垣）